

高校校長を定年退職し複合経営

養蜂と園芸コラボで加工

蜂蜜は産直市へ

J A徳島市徳島支所管内の宮崎農園は、養蜂業と農業の複合経営を展開している。蜂蜜を産直市で販売したり、ミツバチ教室を開いたりして、養蜂業の素晴らしさを消費者に伝えると同時に、自ら栽培する農産物と蜂蜜で加工品を製造、販売している。

徳島市宮崎農園
宮崎忠司さん

同農園の代表は宮崎忠司さん(65)。高校の校長を定年退職した2010年3月に、ニュースでミツバチが激減したという話を聞いた。もともと300年以上続く農家の生まれで、養蜂に取り組んだ。

巣箱で蜂を育てることから始め、試行錯誤を繰り返した。初めて蜂蜜が取れた時の感動が忘れられず努力を重ねた。現在は約700キを搾取し、産直「とくしまマルシェ」で販売する。県外からのバイヤーが訪れるた

め、東京進出を目指しチャンスをうかがっている。地域貢献にも積極的だ。食育活動でキッズフアーマーを実施。「子どもたちに蜂蜜搾りの感動を味わってもらいたい」と、近所の子どもたちを招き、年数回ミツバチ教室を開校する。蜜源となるレンゲソウ畑への種まき、蜂の巣箱からの搾取、さらにラベルを貼って商品を産直で販売するまでが体験でき大人気。普段は少量多品目の野菜を栽培し、プチヴェー

食育で子どもに体験教室



ミツバチの巣箱を確認する宮崎さん

ルなどの珍しい野菜作り 豆などを考え出し、進化にも汗を流す。蜂蜜と野菜が続いている。今年3月菜のコラボレーション商に息子が新規就農してお品作りに挑戦する。黒り、夢が膨らんでいる。(徳島市)